

症例報告の実施に関する情報公開

金沢医科大学では、研究倫理審査委員会の承認を得て、下記の症例報告を実施しています。

患者さんが、この症例報告のために患者さん本人の情報等を使用・提供されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。情報の使用等についてお断りになられても、患者さんに不利益となることはございません。

研究課題名	肺血栓塞栓症の原因となった深部静脈血栓の残存を麻酔科が指摘して手術を延期した症例
研究機関名	金沢医科大学
研究機関の長	学長：宮澤 克人
研究責任者	金沢医科大学 麻酔科学 高橋 完
研究期間	倫理審査委員会承認日 ~ 2023 年 7 月
対象者	2022年10月以降に、金沢医科大学病院にて術前に麻酔科から患者リスクを指摘し、手術を延期された患者さん。
当該研究の意義・目的	2019年の調査において、周術期肺血栓塞栓症(PTE)発症率は手術1万件あたり7.17人、周術期死亡率は4.6%と報告されている。死亡率は低下しているが、発症率は増加傾向であり、依然として重大な周術期合併症である。 今回我々は、股関節全置換術(THA)術後早期にPTEとなった患者に予定された対側THAの術前検査で、深部静脈に大量の血栓を認めたことから、主科と相談し手術延期となった症例を経験したので報告する。
方法および研究で利用する試料・情報について	収集データ 患者背景：年齢、性別、病歴、服薬歴 検査項目：血液検査（凝固系、血算、生化学情報）、CT画像、下肢エコー評価 収集されたデータをまとめて、症例報告されます。 得られた研究データは、学内規程で定められた研究発表後10年間保管され、その後適切な方法にて破棄されます。 この研究では試料の取扱いがありませんので、ゲノム情報の取扱いはありません。
外部への資料・情報の提供	外部への提供はありません。
個人情報の開示に係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の問合せ先にご相談ください。
利益相反について	この研究の計画・実施・報告においては、金沢医科大学利益相反マネジメント規程に則って、適正に行われます。また、この臨床研究にご参加いただくことであなたの権利・利益を損ねることはございません。
資料の閲覧について	あなたからのご要望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、この研究の計画や方法についての関連資料をご覧いただくことができますのでお申し出下さい。この研究で得られる結果を実際の治療に結びつけるには、今後さらに研究を進める必要があり、今すぐ、個人の病気の治療などに役立つものではありません。以上のことから、今回の研究では、ご本人に関する解析結果をお知らせする事は想定しておりません。
問合せ先	その他、この研究に関するお問合わせは、下記へご連絡ください。 金沢医科大学 麻酔科学 高橋 完 住所：石川県河北郡内灘町大学1-1 ☎：(代表)076-286-3511 内線(3137)

作成日： 2022 年 12 月 1 日